

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



コスモスハーモニー・感謝の号外

終業式を終えた後も、読者ページにお便りをいただいています。

お家の方々の思いが本当にありがたく、お便りを読むたびに胸が熱くなります。本当に、ありがとうございます。

感謝の気持ちを込めて、号外編として一つメッセージを紹介させていただきます。

渡辺先生、SOLAN 小学校の先生方、1年間本当にありがとうございました。

私たち親子にとって、たくさんチャレンジすることができ、とても素晴らしい1年になりました。

何より、先生方が生き生きしてみえるため、そんな雰囲気の中で生活できることも私たちは幸せだなと日々感じておりました。

「学校が楽しかった！土日がつまんない！」と笑顔で帰ってくる息子をみて、こんなに幸せなことはないと嬉しく思っていました。

幸せなこどもの姿を見ることができる親はさらに幸せです。

新設小学校ということもあり、先生方も考えることばかりで大変だったと思います。ただ、保護者や子どもたちをパートナーとして迎えてくださり、意見を聞いたり話し合いの場を設けてくださることは、分かってはいたましたがとても嬉しいことでした。

今後一緒に最高の学校をつくるお手伝いができるよう、できる限りサポートしていきたいです。

また、渡辺先生の道徳の授業はこどもの心にとても響いたようで、よく渡辺先生の言葉を家で話してくれます。

まだ、素直で吸収しやすい時期に渡辺先生の授業を受けられたこと感謝しています。本当にありがとうございました。

ちょうど1年前の自分に、「この学校に決めたことは間違いなかったよ。想像を遥かに超えた素敵な先生や保護者、こどもたちに出会えて今とても幸せだよ！」と伝えてあげたいです。

本当に1年間お疲れ様でした。
そして、ありがとうございました。

温かいメッセージ、改めて誠にありがとうございました。

以前も書きましたが、教師とはマラソンで言う「伴走者」のような存在だと私は思っています。

子どもたちが走る人生の隣を、一定期間だけ共に走る伴走者。

そして、そのまた隣には、より長い期間を伴走しているお家の方の姿があります。

他にもきっと、多くの方が子どもたちの成長を様々な形で応援していることでしょう。

SOLAN に繋がる様々な方々が、この1年間の伴走の役目を担ってくれていたのだと思います。

私も、教員としてだけでなく、いち保護者としても、我が子の成長を多くの方々が伴走して下さったことに心から感謝しています。

来年はクラス替えもあり、担任の先生方も変わり、大きな区切りをもってまた新たな一年間が始まっていきます。

今年のごことは、時間の経過と共に記憶から次第に薄れ、やがて消えていくでしょう。

これは、来年も再来年も、きっと同じです。

小学校で学んだこと、身につけたこと、教えてもらったこと。

それを、どの先生にどうやって教えてもらったかを、大人になって覚えている人はほとんどいません。

でも、習った漢字はきちんと覚えています。

足し算や引き算の計算だってできます。

縄跳びや跳び箱の跳び方もみんなの中に、ちゃんと力として残っています。私も同じです。

いつ、だれが、どんな風に私にひらがなを覚えてくれたのか、私は思い出すことができません。

それでも、誰かが私に教えて手ほどきをしてくれたからこそ、こうやって文字の読み書きができるようになりました。

クラスでの思い出が、時がたつにつれてみんなの記憶から薄れてやがて消えていくことは、ほんの少し寂しいことでもあります。

でも、それでいいのだと思います。

先生の仕事は、楽しい思い出を覚えてもらう事ではありません。

先生が教えたことを覚え、身に付けてもらうことだと思っています。

学んだことを生かし、たくましくこれからの人生を生きていってくれるならば、忘れられても満足だと思えるのが教職という仕事なのだと思います。

来年からも、子どもたちの歩みは続いていきますが、その人生の道のりの一区間を伴走できたことは、私にとっても本当に幸せなことでした。

1年生のみんなのこれからの歩みを、手を振りながら見送り、そして離れはしても応援し続けたいと思います。

改めて一年間、誠にありがとうございました。